資料4-2

平成29年10月23日開催
第87回運営委員会　資料2-1

インセンティブ制度の試行実施の結果及びシミュレーションについて

インセンティブ制度の試行実施の結果及びシミュレーションについて

【試行実施の結果について】

○　協会におけるインセンティブ制度の試行実施については、平成29年３月23日に開催された第83回運営委員会で了承された資料において「平成29年度の上半期を目途に実績を暫定集計」するとしていた。

○　今般、上半期で実績が集計可能な４月～７月（第１四半期）のデータを用い、対前年との伸びの算出にあたっては、前年度同期との比較を行った（シミュレーションⅠ）。

○　また、通年ベースでの結果も勘案する観点から、シミュレーションⅠに加えて、27年度（伸びは26年度と比較）及び28年度（伸びは27年度と比較）の満年度のデータを使用したシミュレーションも作成した（シミュレーションⅡ、Ⅲ）。

【シミュレーションについて】

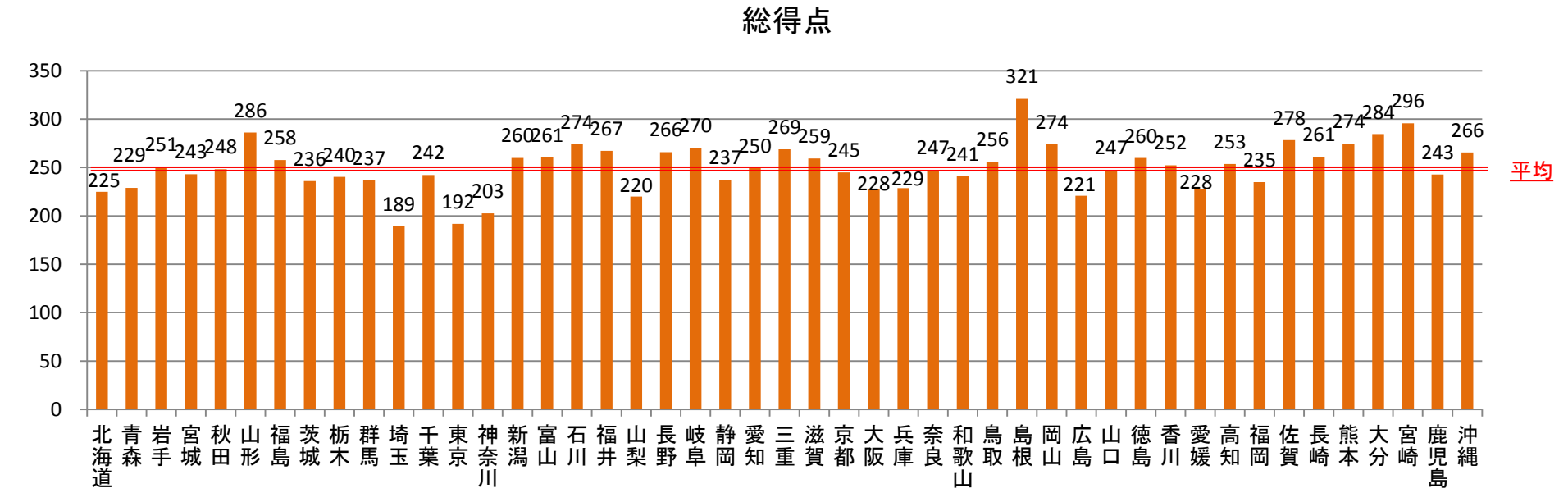
Ⅰ：試行実施（平成29年４月～７月）のデータを用いたシミュレーション　（2P～8P）

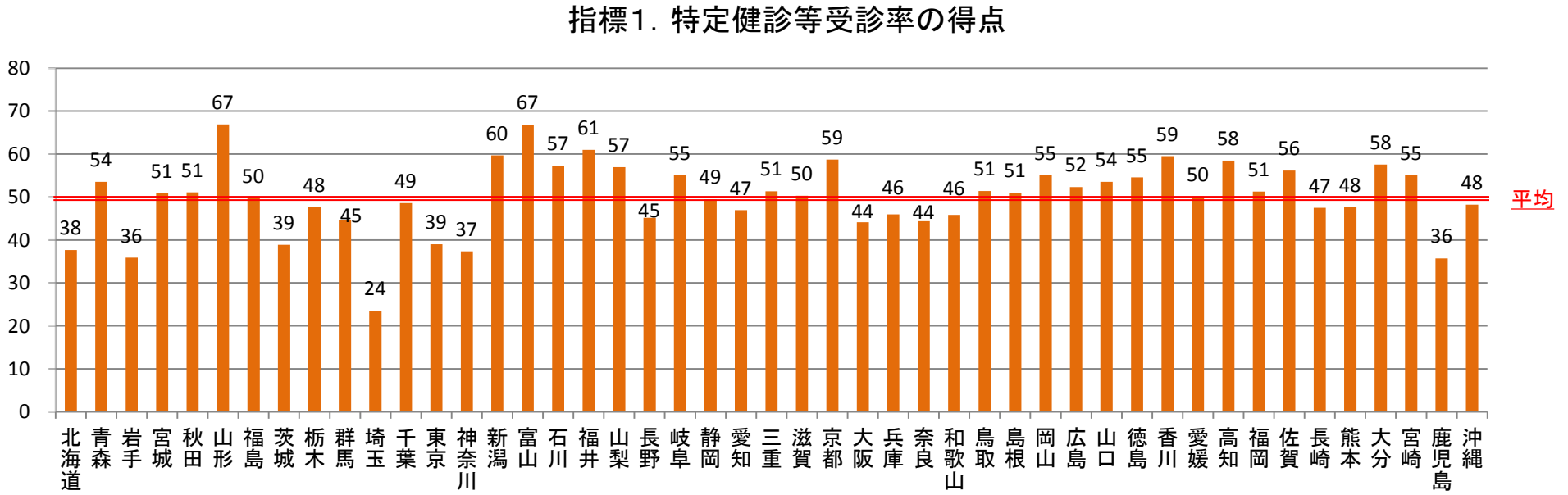
Ⅱ：平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション（9P～15P）

Ⅲ：平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション（16P～22P）

Ⅰ：試行実施（平成29年４月～７月）のデータを用いたシミュレーション

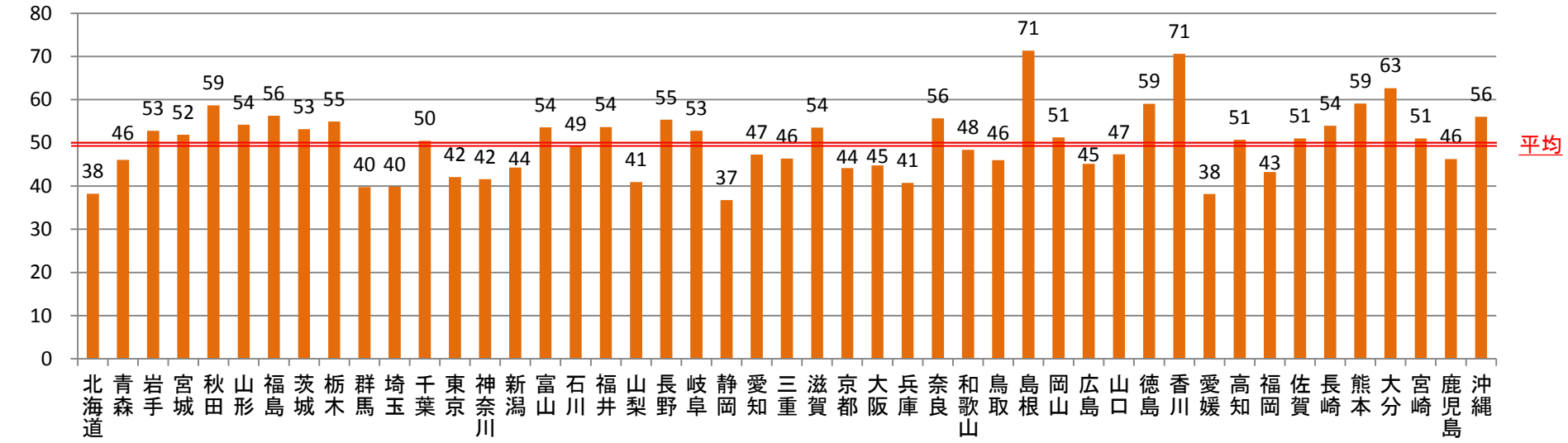
試行実施（平成29年４月～7月）のデータを用いたシミュレーション



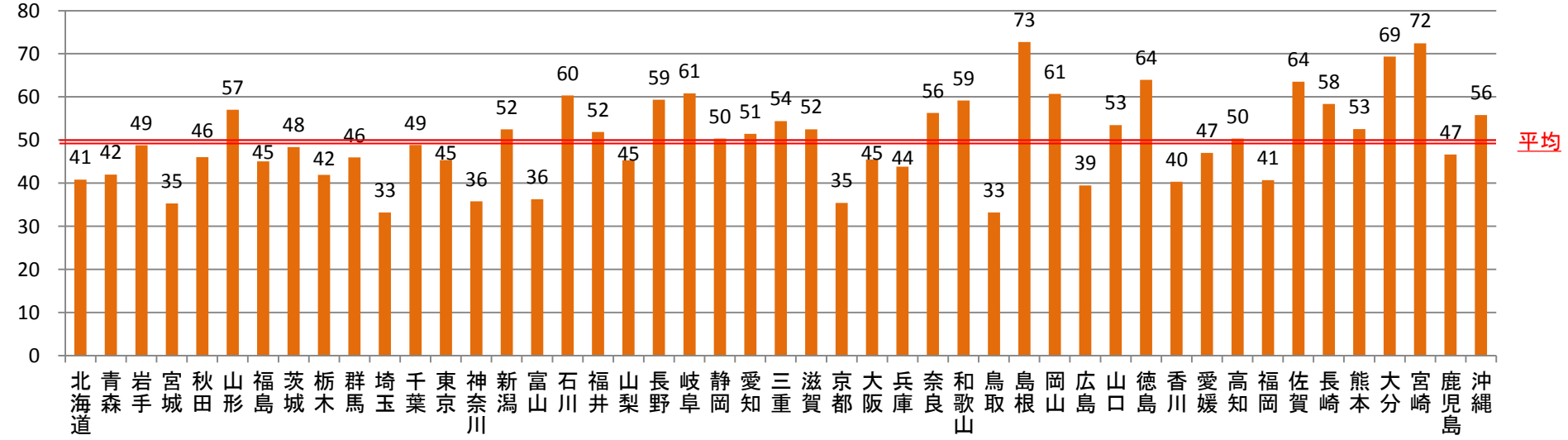


試行実施（平成29年４月～7月）のデータを用いたシミュレーション

指標2. 特定保健指導実施率の得点



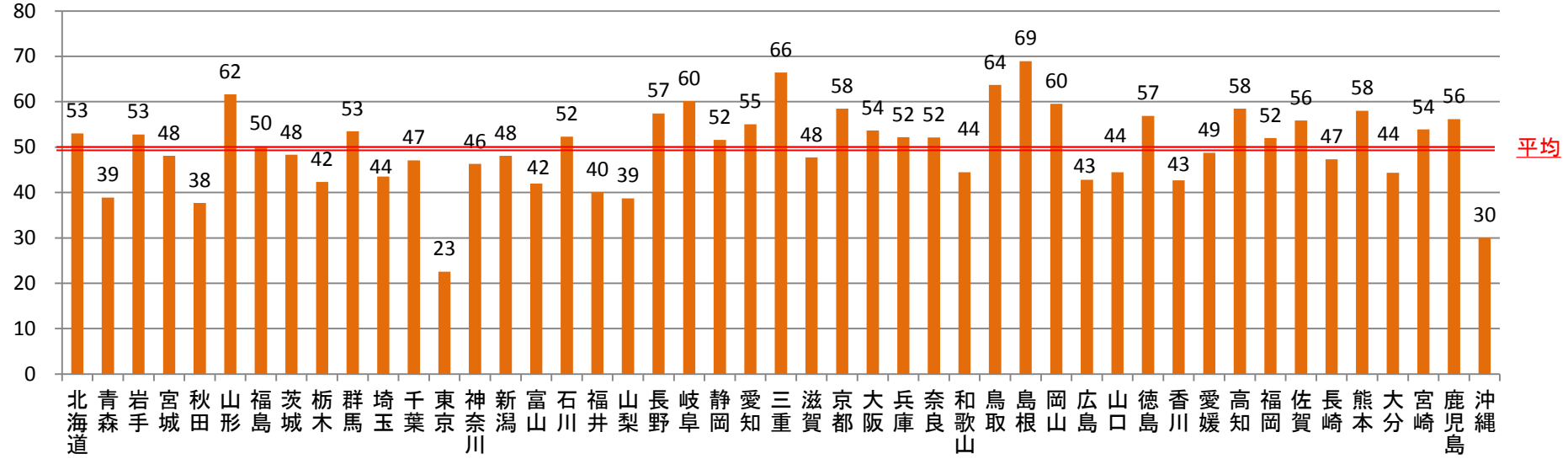
指標3. 特定保健指導対象者の減少率の得点



試行実施（平成29年４月～7月）のデータを用いたシミュレーション

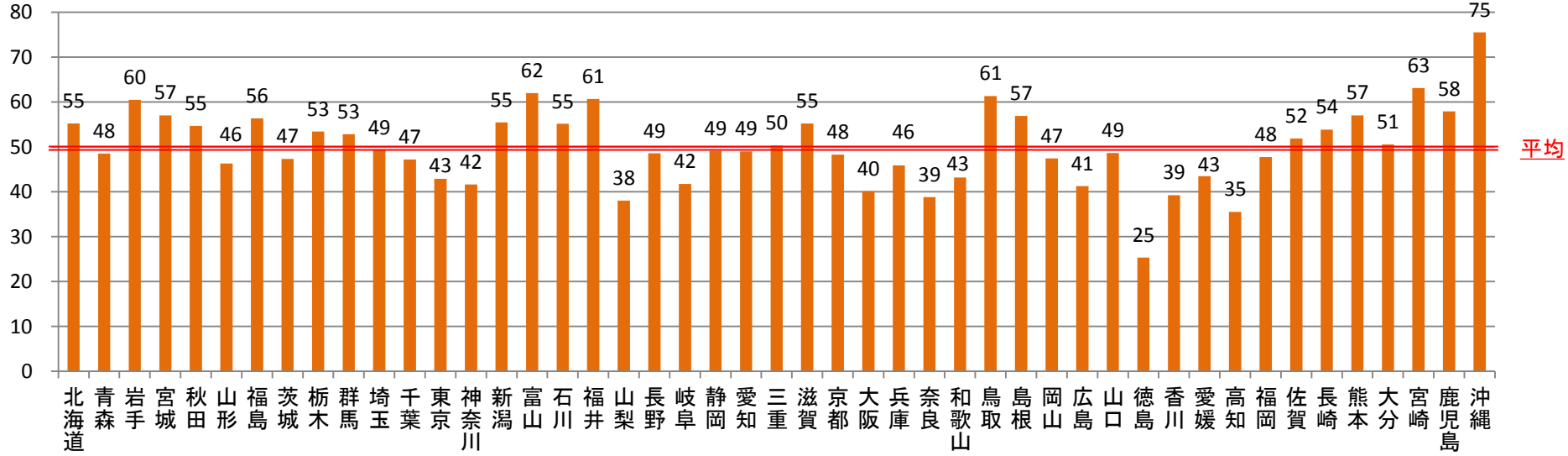
指標4．医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率の得点

※4月及び5月に受診勧奨を行った者のうち、受診勧奨から3か月後までに医療機関を受診した者の数で算出



指標5．後発医薬品の使用割合の得点

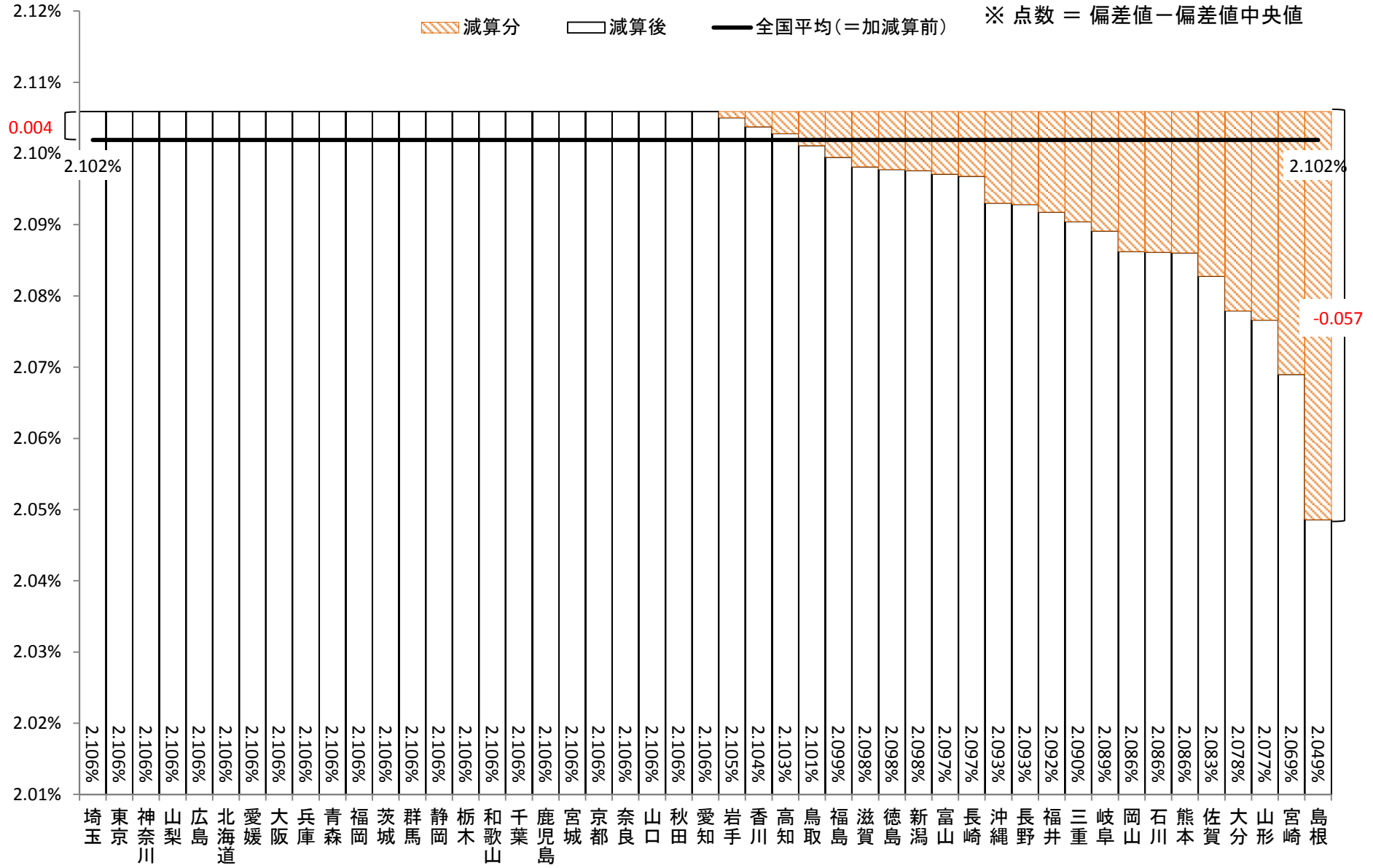
※4月～6月の平均値で算出



平成28年度（4月～7月）及び29年度（4月～7月）データを用いたシミュレーション

【平成30年度実績評価⇒32年度保険料率へ反映】

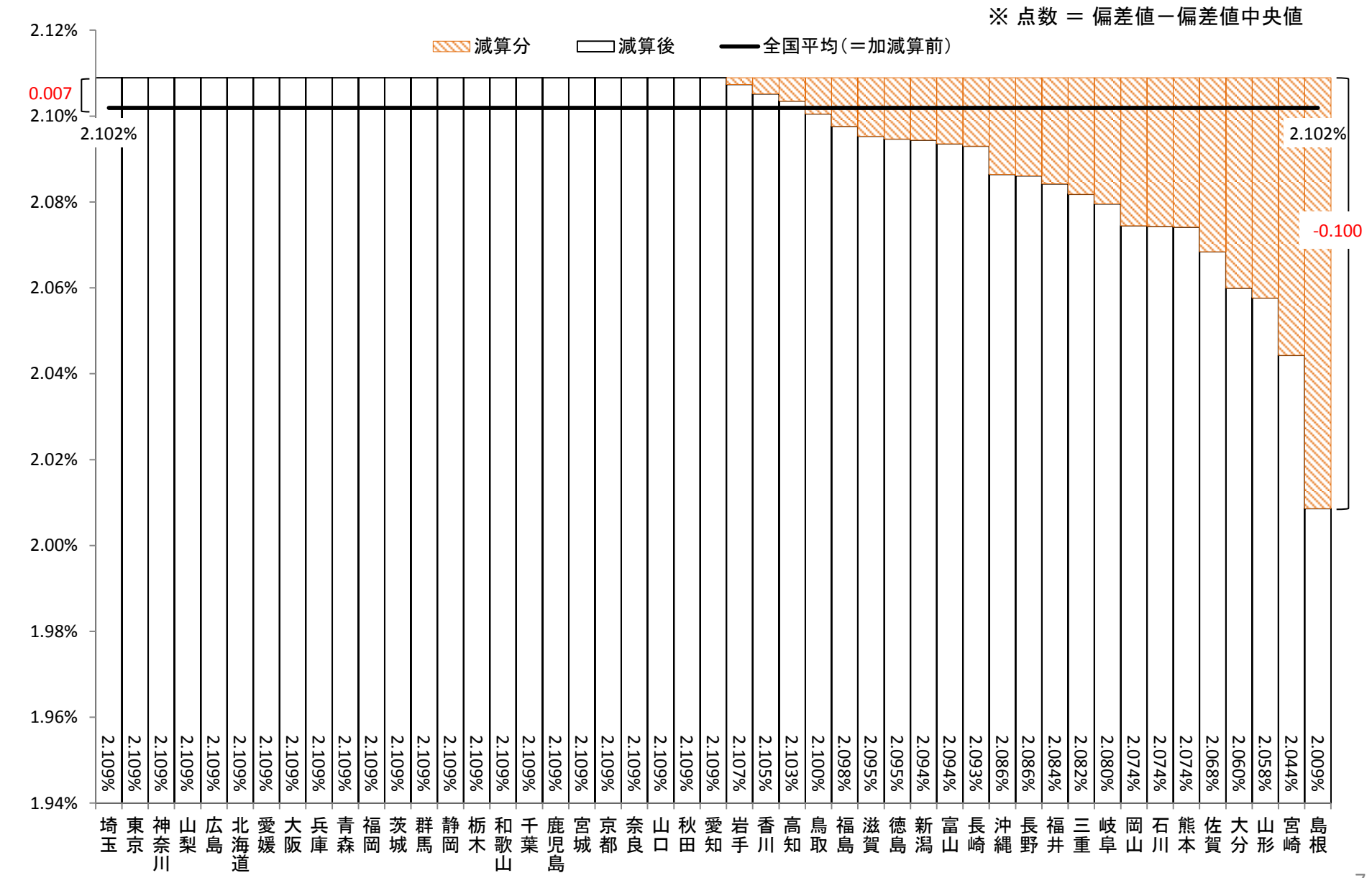
財源分の保険料率　0.004



平成28年度（4月～7月）及び29年度（4月～7月）データを用いたシミュレーション

【平成31年度実績評価⇒33年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.007

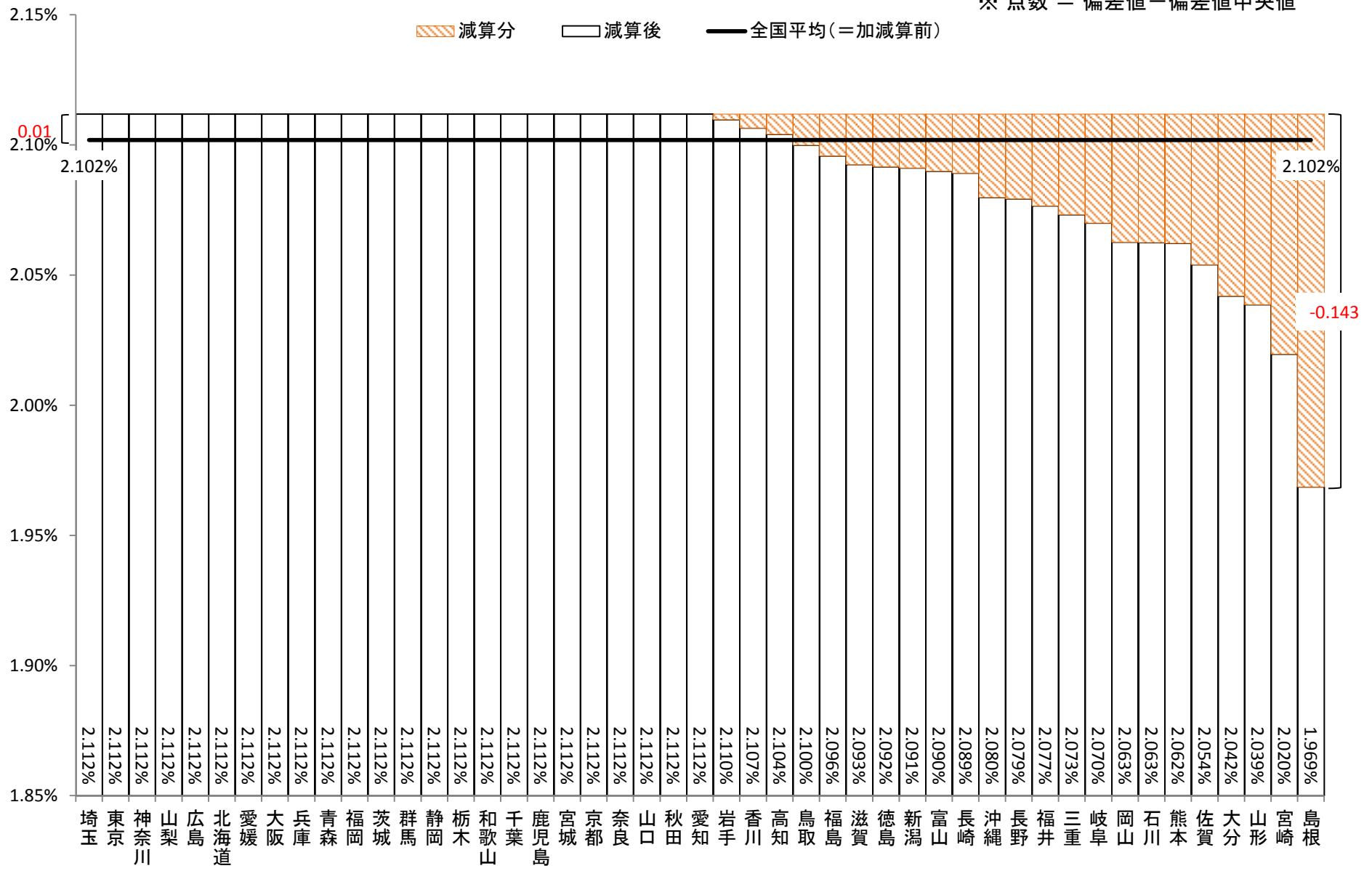


平成28年度（4月～7月）及び29年度（4月～7月）データを用いたシミュレーション

【平成32年度実績評価⇒34年度保険料率へ反映】

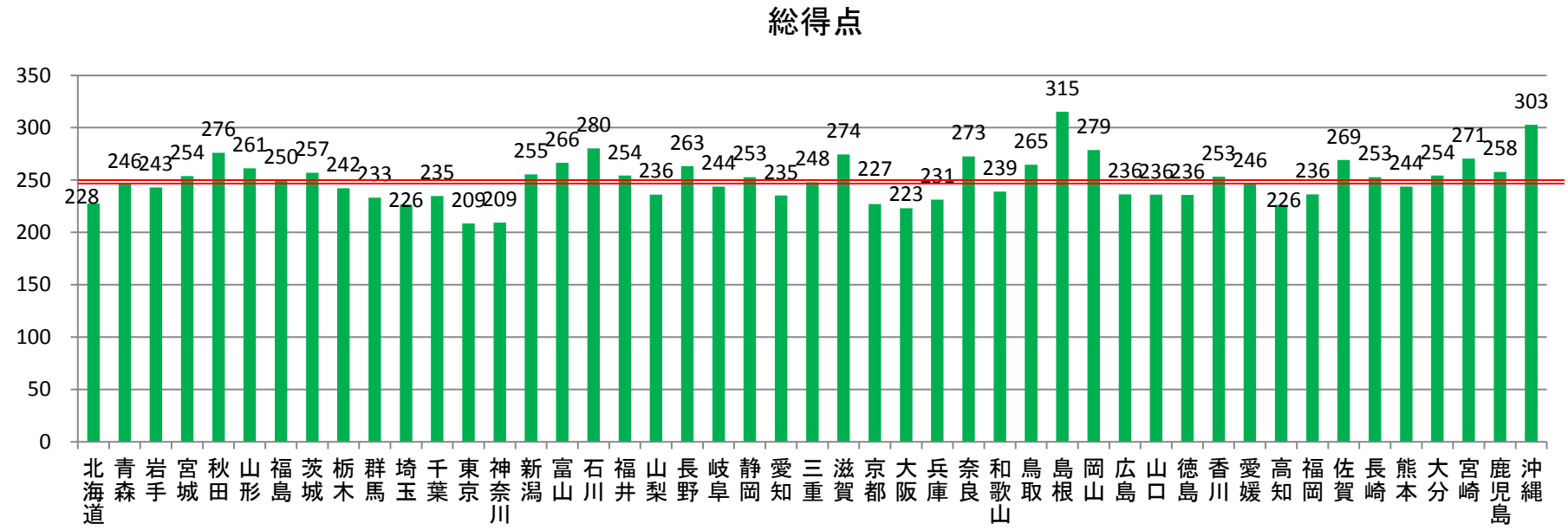
財源分の保険料率　0.01

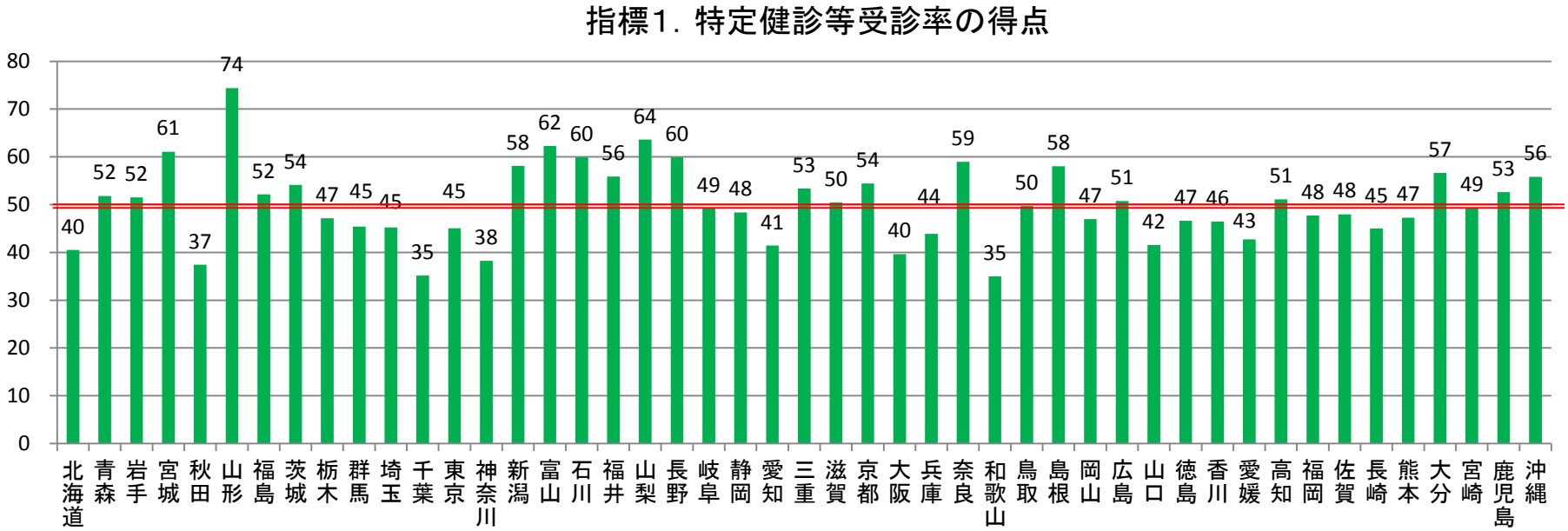
※ 点数 ＝ 偏差値－偏差値中央値



Ⅱ：平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

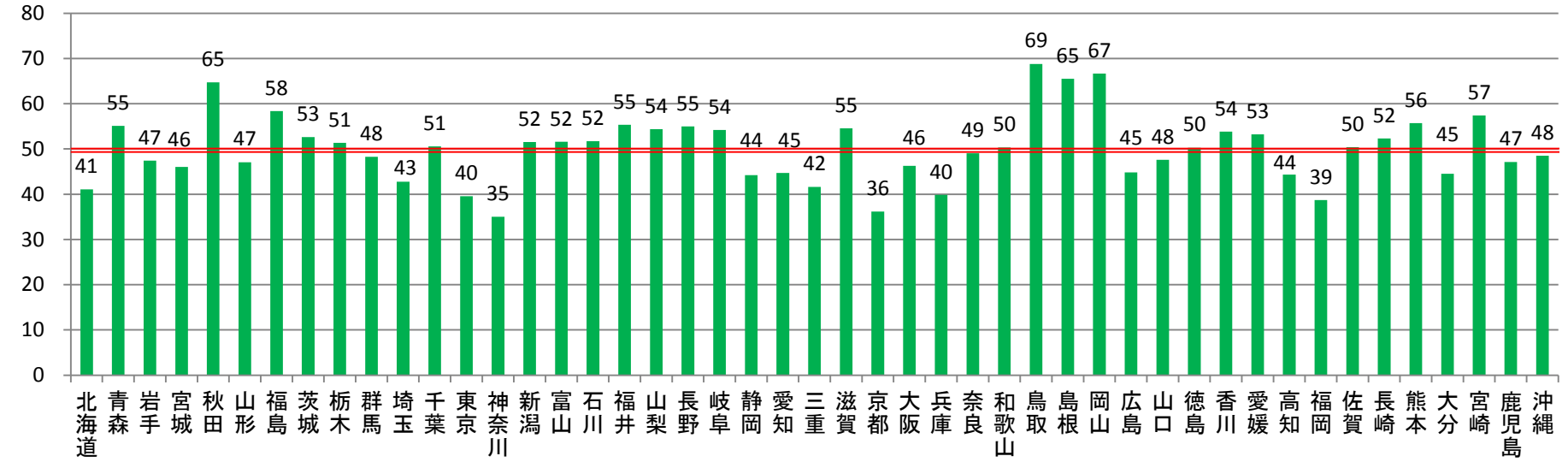
平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション



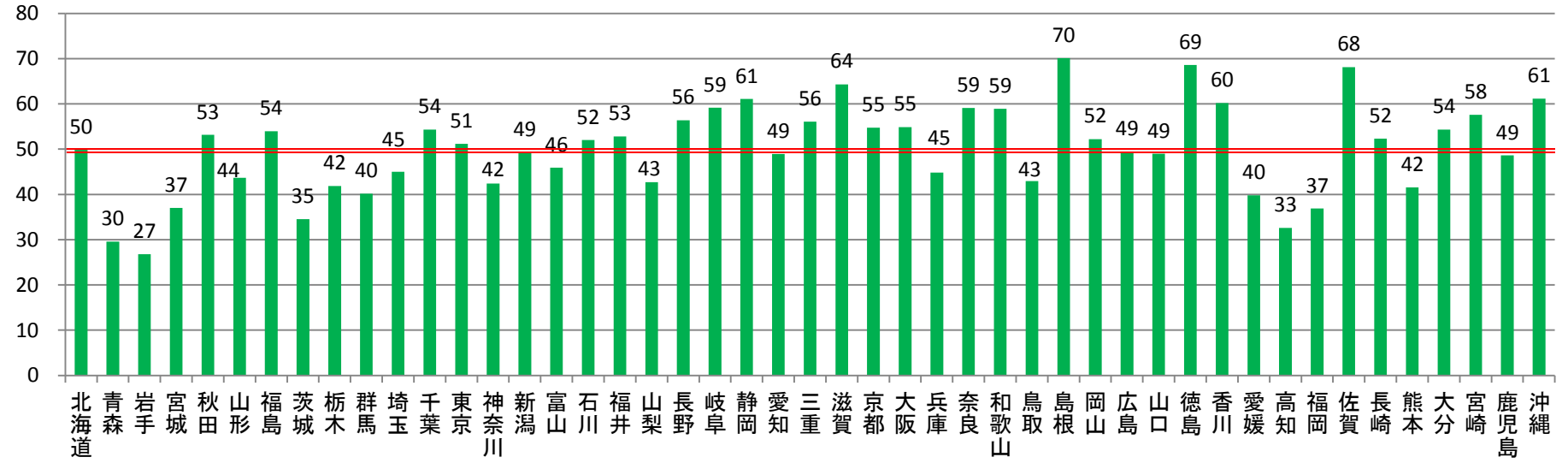


平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

指標2. 特定保健指導実施率の得点

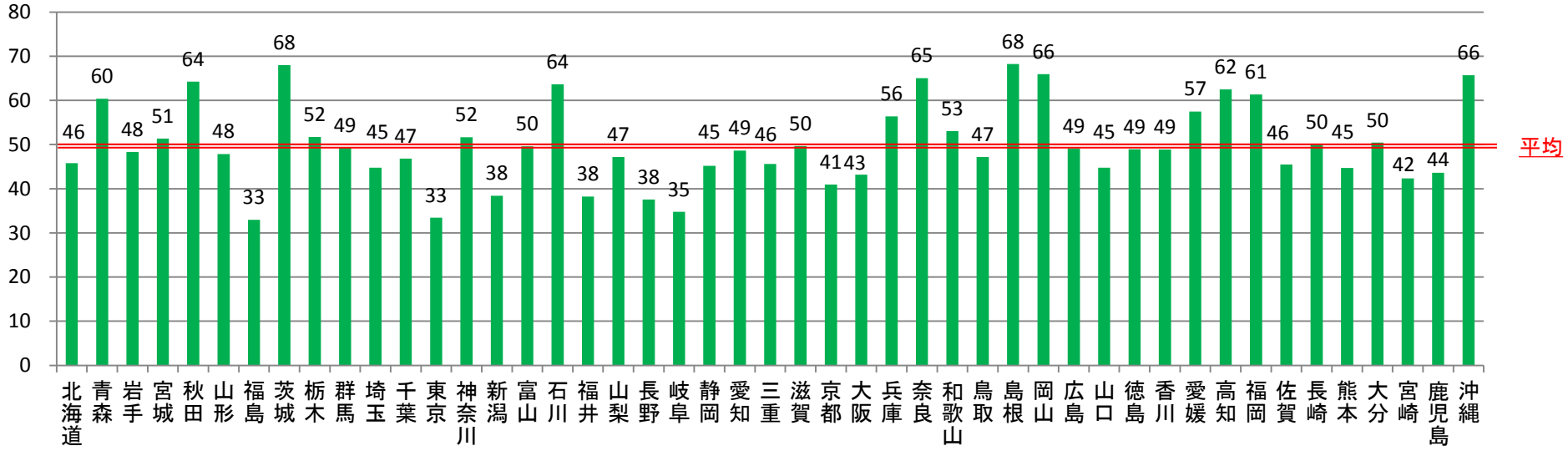


指標3. 特定保健指導対象者の減少率の得点

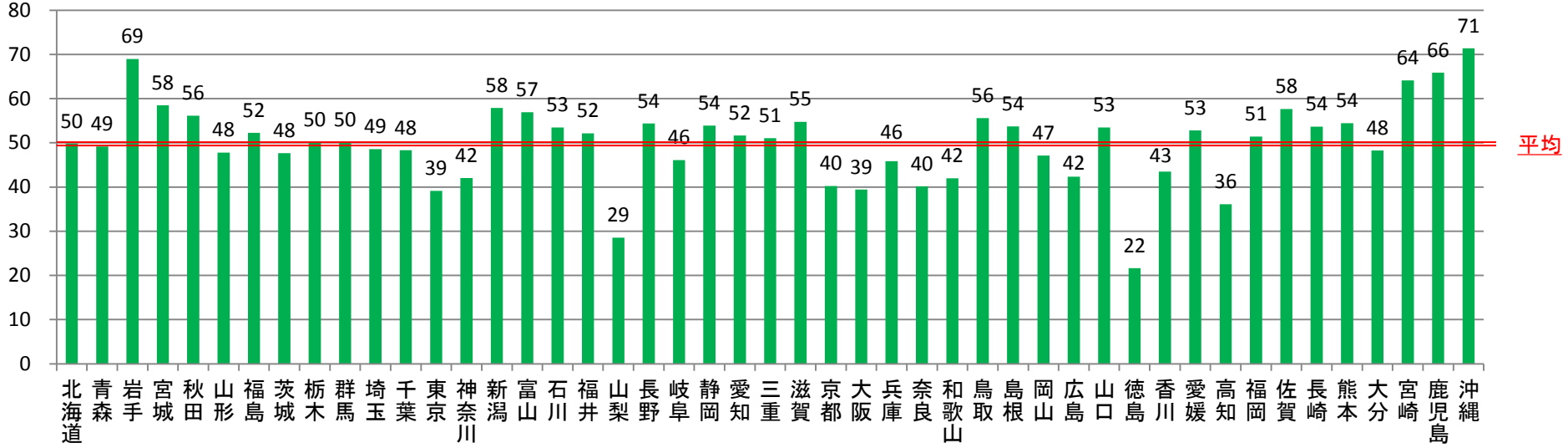


平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

指標4．医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率の得点



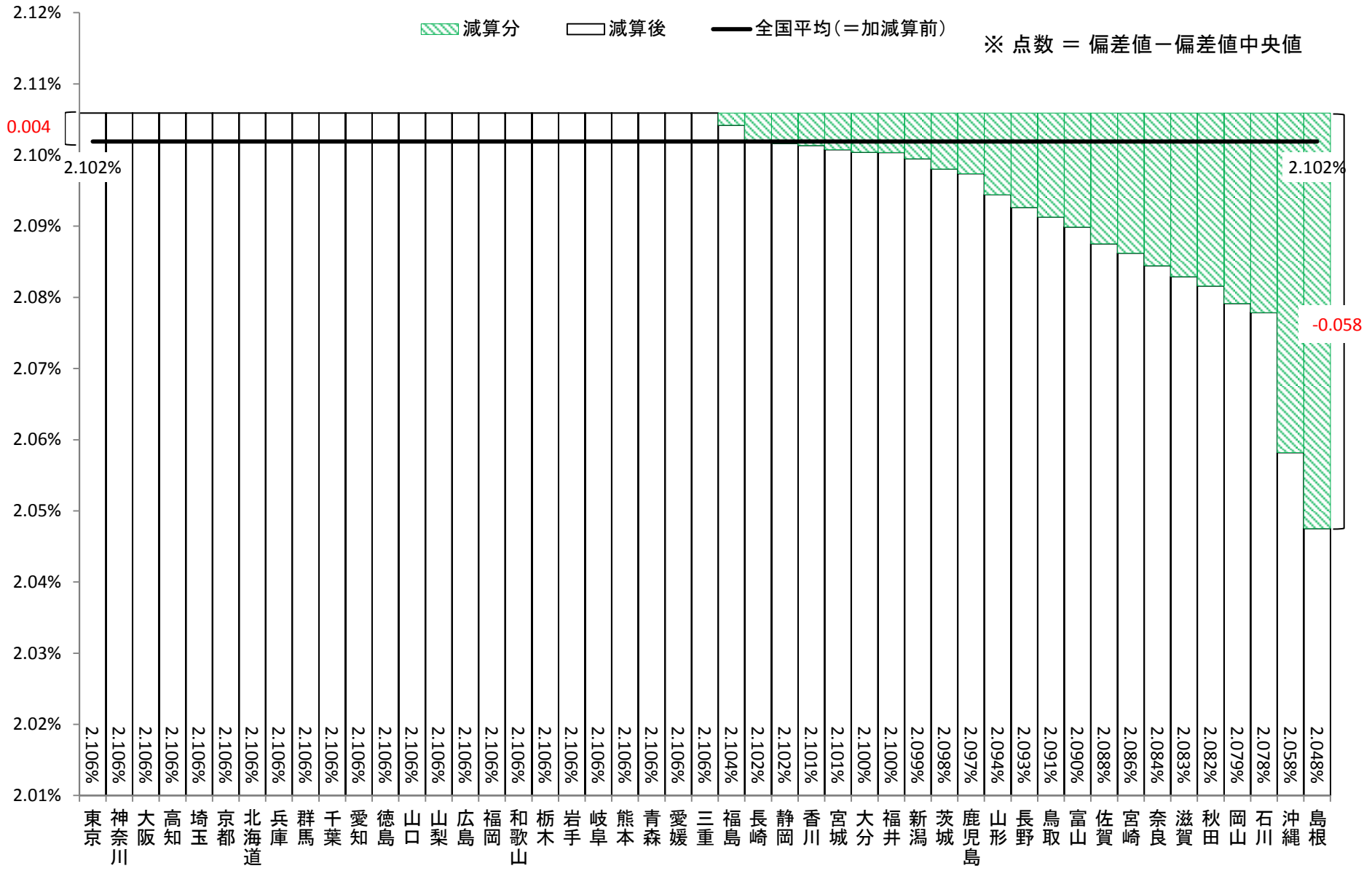
指標5．後発医薬品の使用割合の得点



平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

【平成30年度実績評価⇒32年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.004

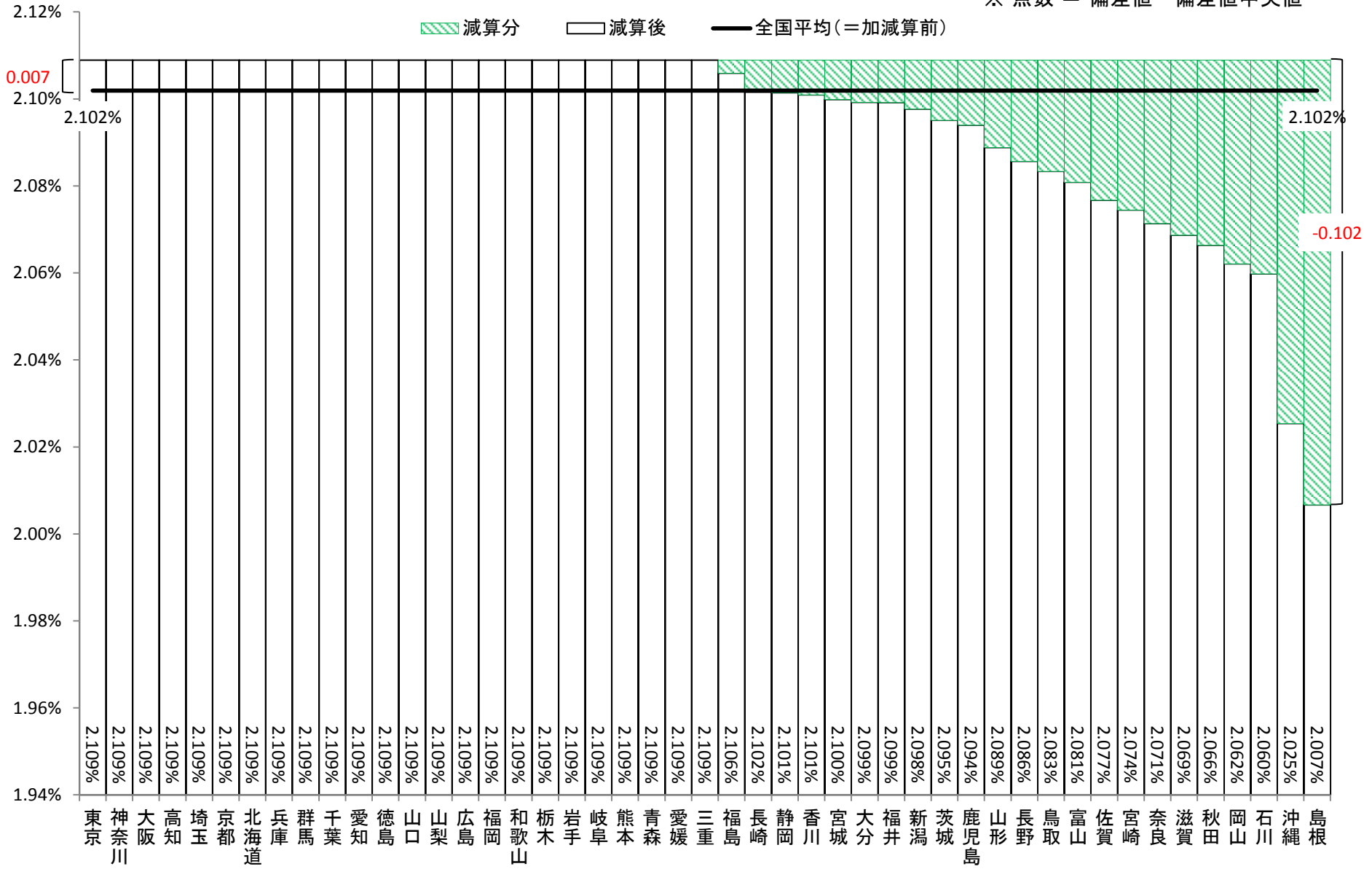


平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

【平成31年度実績評価⇒33年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.007

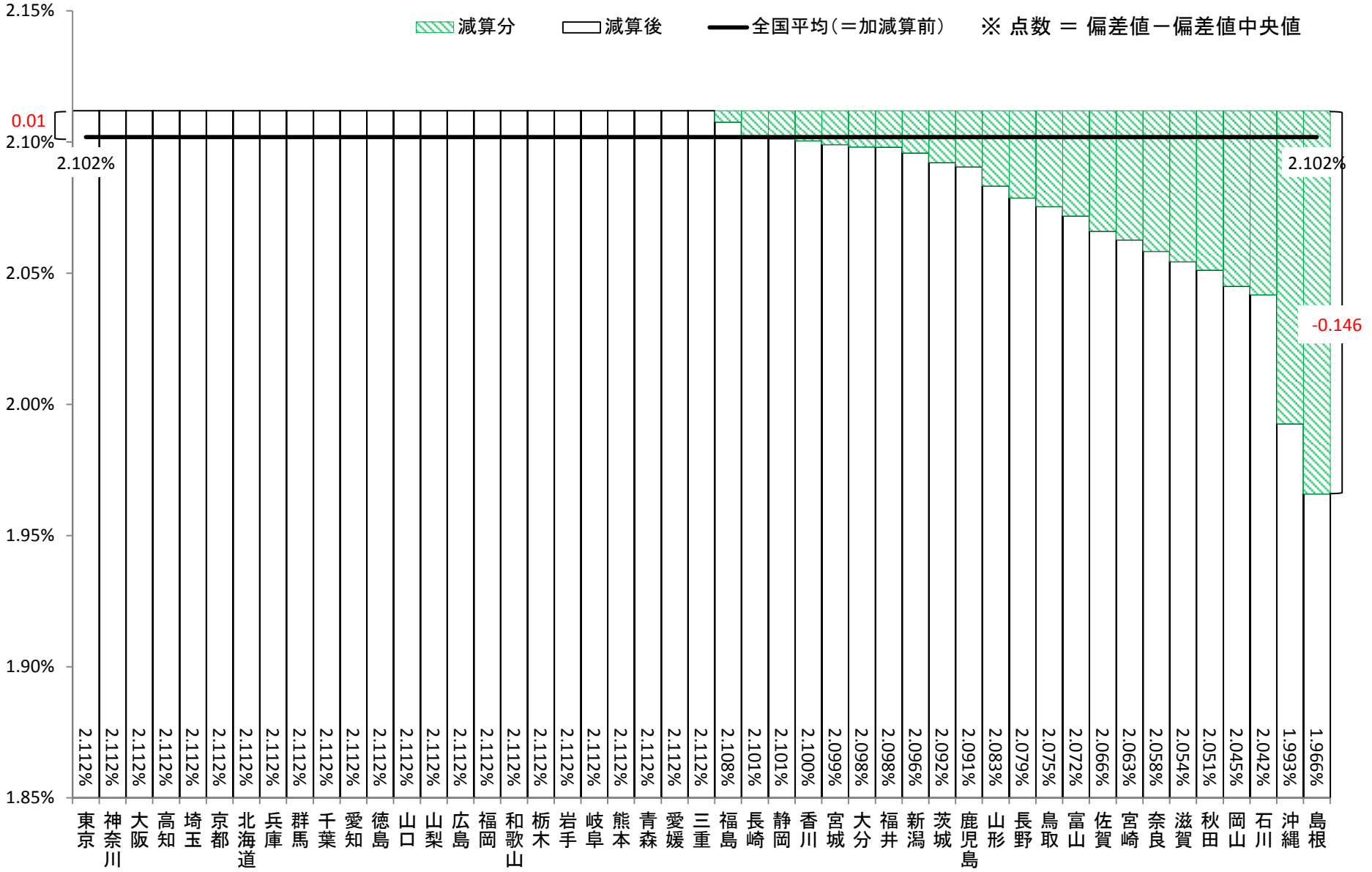
※ 点数 ＝ 偏差値－偏差値中央値



平成27年度及び28年度データを用いたシミュレーション

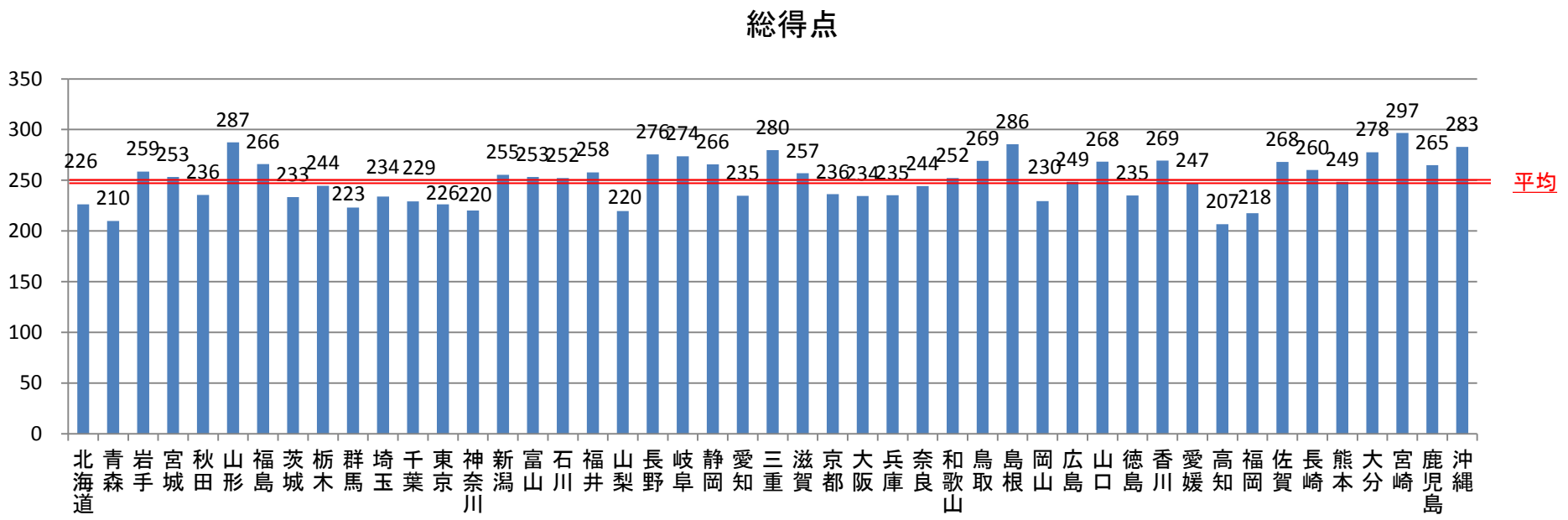
【平成32年度実績評価⇒34年度保険料率へ反映】

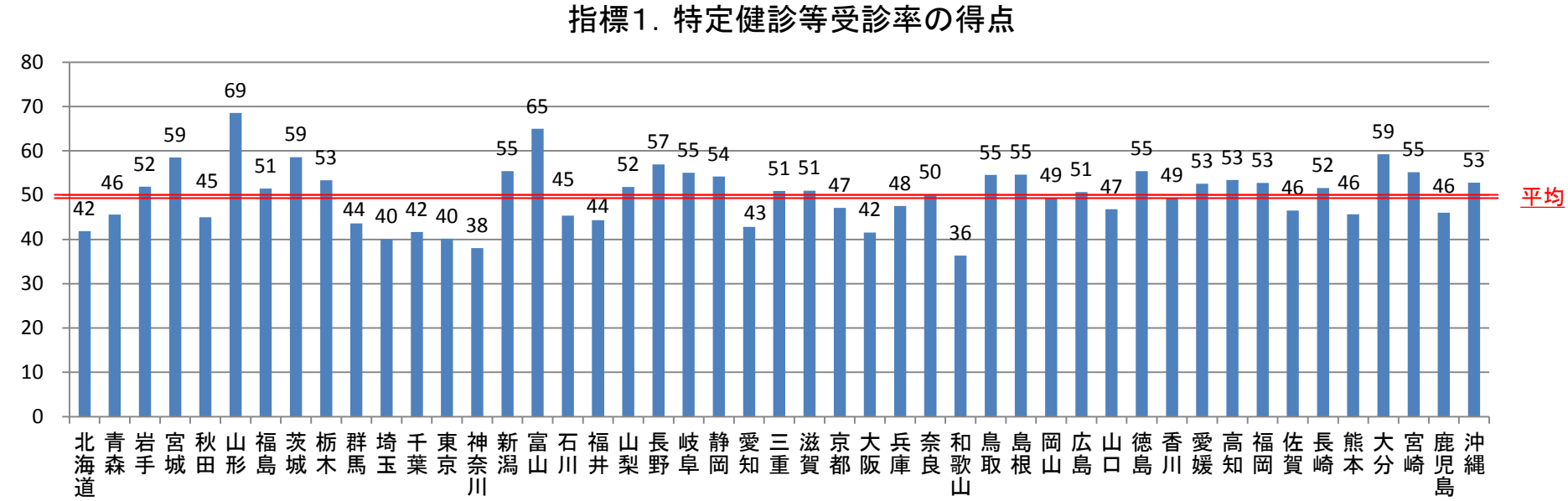
財源分の保険料率　0.01



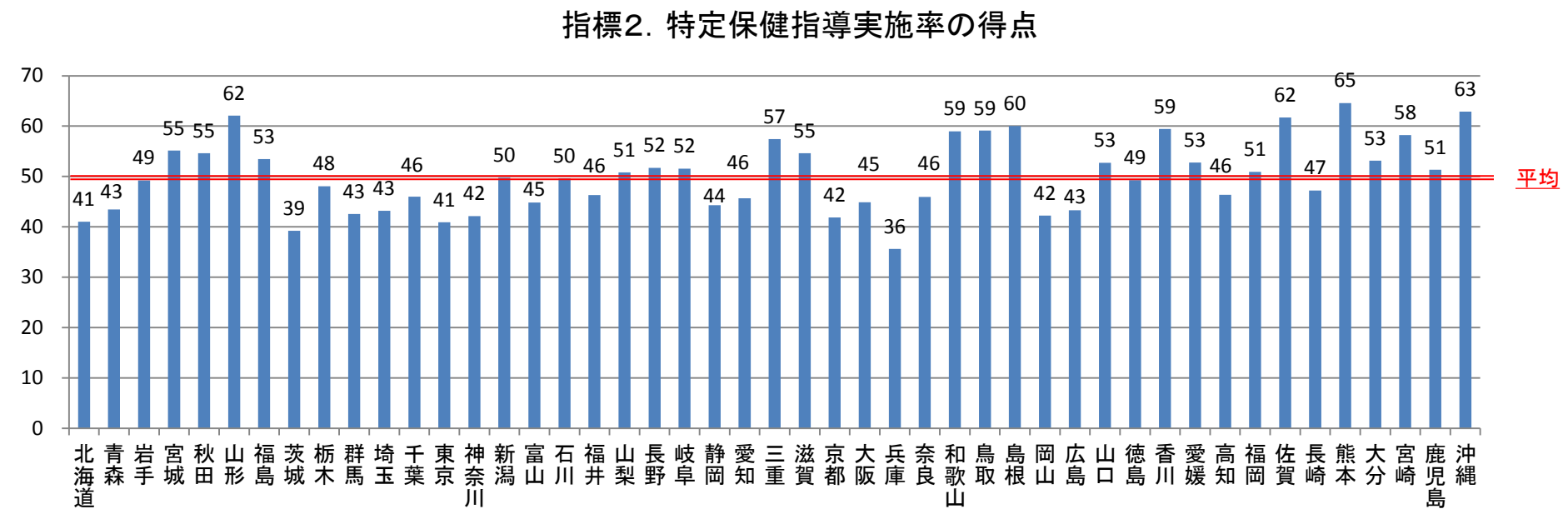
Ⅲ：平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション

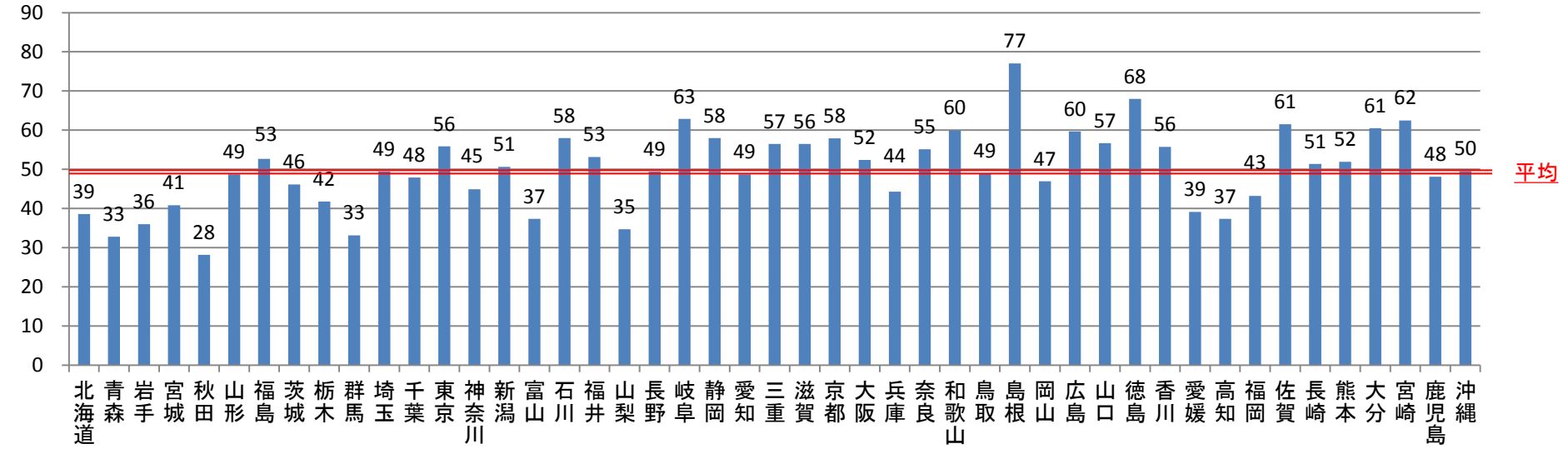
平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション





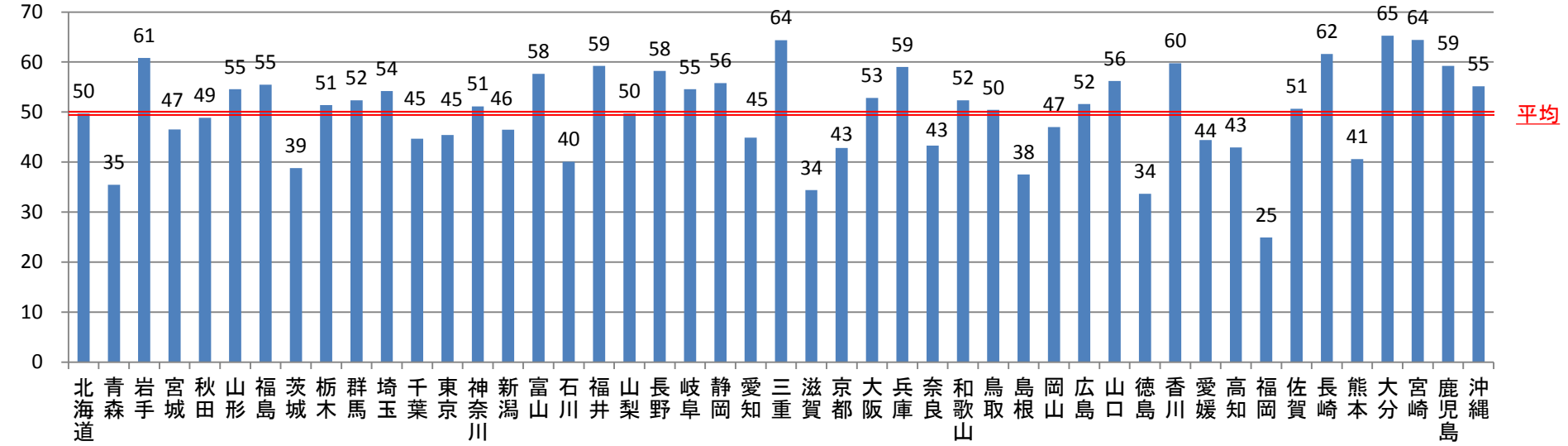
平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション



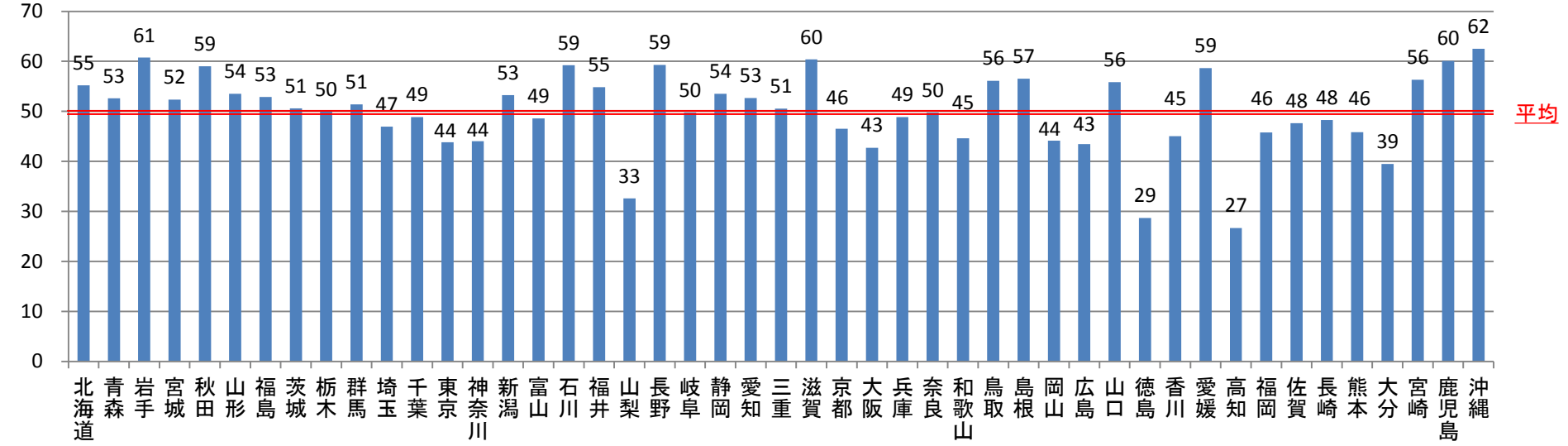


平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション

指標4．医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率の得点



指標5．後発医薬品の使用割合の得点

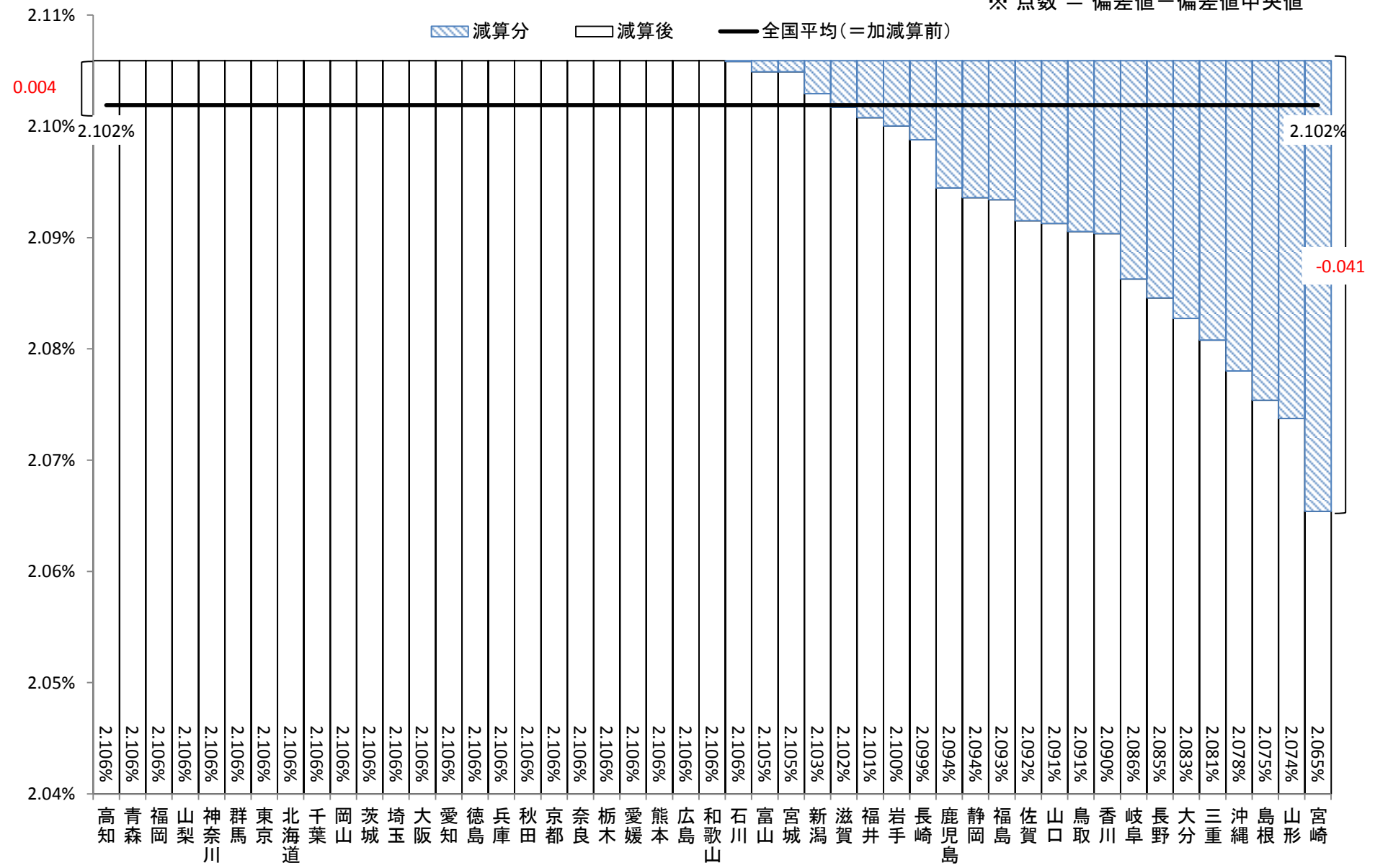


平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション

【平成30年度実績評価⇒32年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.004

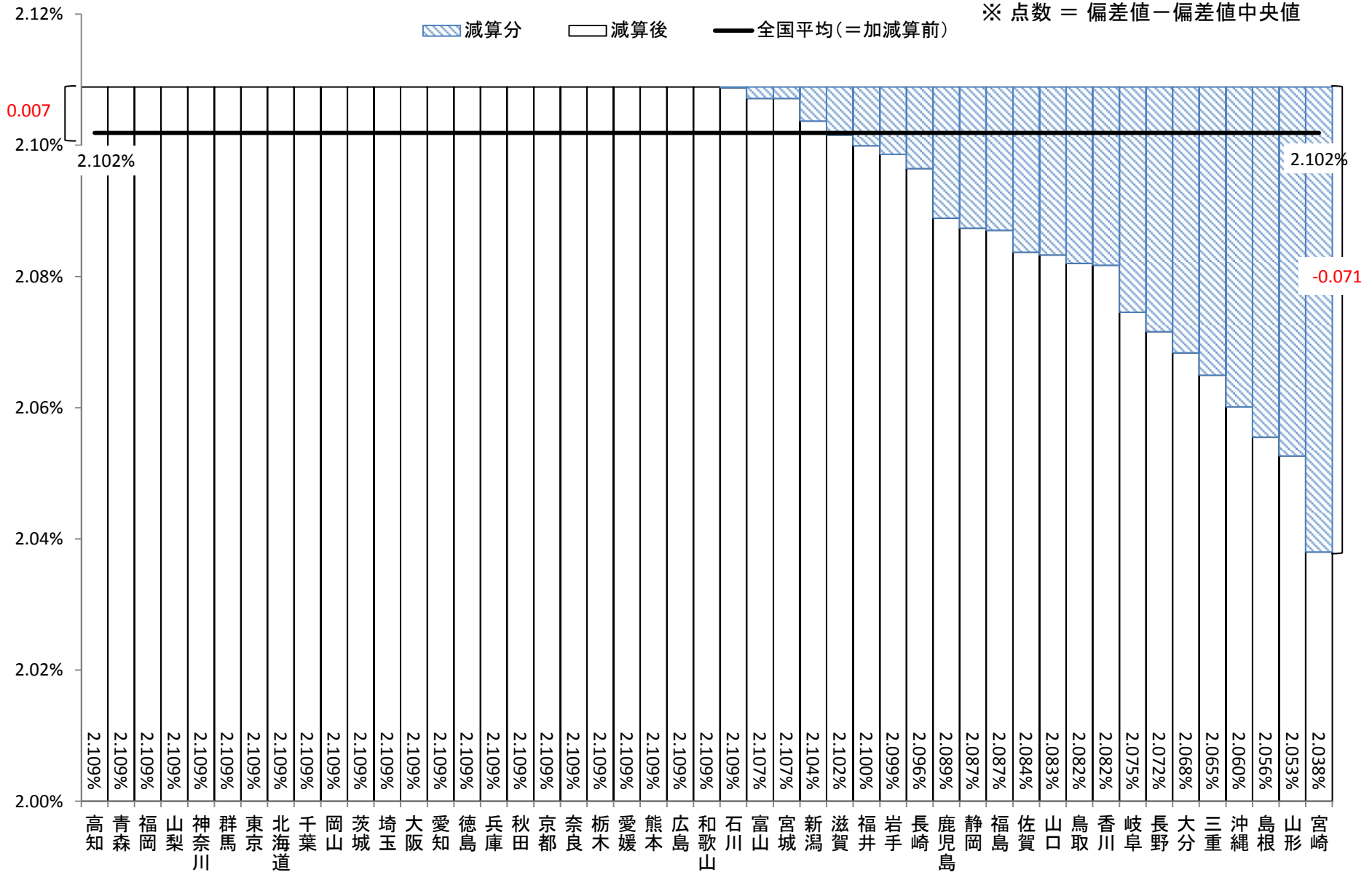
※ 点数 ＝ 偏差値－偏差値中央値



平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション

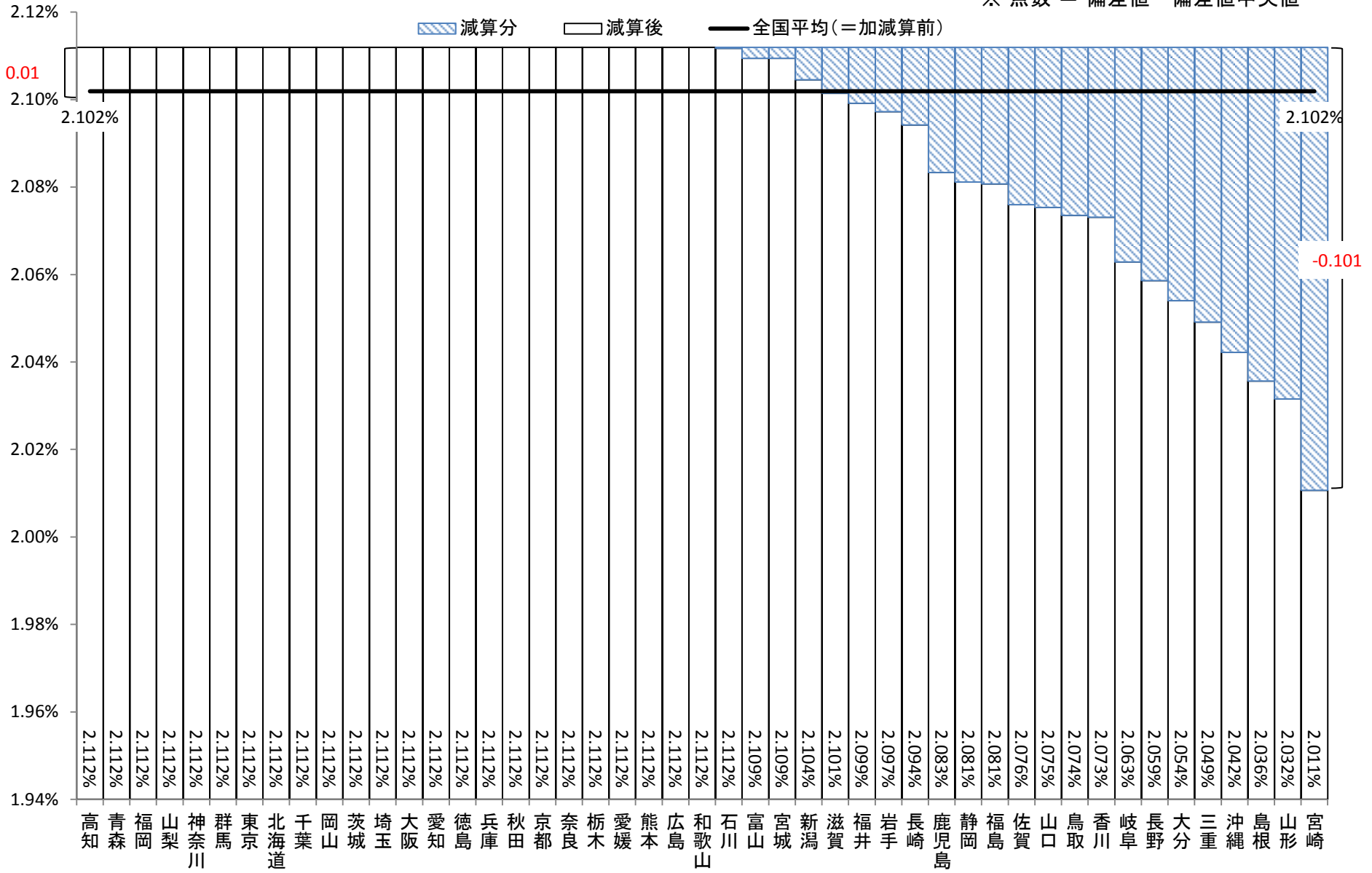
【平成31年度実績評価⇒33年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.007



平成26年度及び27年度データを用いたシミュレーション

【平成32年度実績評価⇒34年度保険料率へ反映】

財源分の保険料率　0.01

※ 点数 ＝ 偏差値－偏差値中央値